

パスイ、イクパスイ、トゥキパスイ（捧酒箸）

一般的にパスイと呼ばれる装飾が施された木製の道具は、日々の生活の中で箸（イクパスイ）として使われてたり、アイヌの儀式の際に使う祭具（パスイもしくはトゥキパスイ）として使われます。装飾は通常として棒の中央に施され、自然界の現象や物を象徴します。パスイの先端のデザインは、それを使っている人の血統を表し、神（カムイ）に対して、誰が祈りをささげているのかを明らかにする助けとなります。儀式の最中、パスイの先端にお酒をつけ、垂らすことでカムイへ捧げます。